多機能型事業所あざい

第一回 『チョコレ ト作りワークショップ』 開催

プ』を開催しました。今回が初めての試みとなりさひ」主催の『チョコレート作りのワークショッ の記念すべき第一弾として、 月6日、 9組15名の方にご参加いただきま 一面に掲載の「あおぞらひろば」 「多機能型事業所あ

藤清隆先生にお越しいただき、私たちは助手を務 着できればと思います。 りの場として、また何でも相談できる場として定 た。この活動が、地域の方々の楽しみや繋がり作 事についてもお話してくださる方もおられま. の中で、チョコレ めながら参加者の方と色々なお話をしました。そ でチョコレー 計画していきます は、チョコレー に、いつもご指導いただく広島大学名誉教授の佐 私たちは、「あさひチョコレ ト作りを行っています。今回は特別 ト作りの他にも様々なイベントを トの話だけでなく、ご家族の 今後「あおぞらひろば」 _ のブランド

すので、 ましては、 み等でお知らせしま グラムや新聞折り込 ください ぜひご参加 インスタ

お待ちしています。

支援員 瀬古 昌弘



コロナ禍でも楽しく買い物を

を日々模索しています。 どのようにして利用者の皆さんの楽しみを生み出せるか に外出に関しては慎重にならざるを得ない状況が続いて います。「新しい生活様式」が求められる中で、 コロナ禍により、さまざまなことが制限される中で、 私たちは

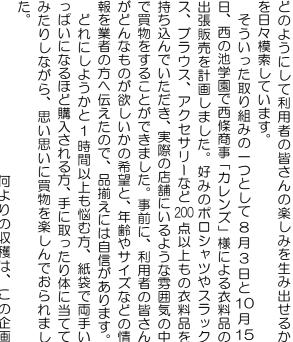
ス、ブラウス、アクセサリーなど20点以上もの衣料品を出張販売を計画しました。好みのポロシャツやスラック日、西の池学園で西條商事「カレンズ」様による衣料品の っぱ 報を業者の方へ伝えたので、品揃えには自信があります。 がどんなものが欲しいかの希望と、年齢やサイズなどの情 で買物をすることができました。事前に、利用者の皆さん 持ち込んでいただき、実際の店舗にいるような雰囲気の中 ぱいになるほど購入される方、手に取ったり体に当ててどれにしようかと 1 時間以上も悩む方、紙袋で両手い

くさんの笑顔を見ることがで を通して利用者の皆さんのた 何よりの収穫は、 この企画

期には、このような企画を実施限らず感染症対策が必要な時 はありませんが、 していきたいと思って コロナ感染の行方は定かで 今後コロナに います。

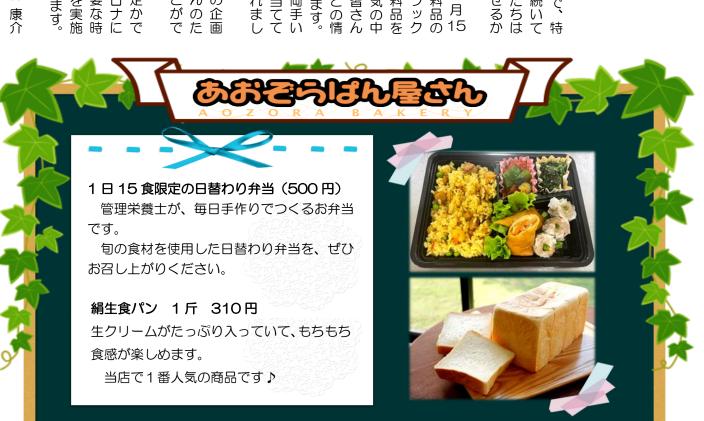
支援員 林





参加者募集につき

きたことです。



heiseikai@nishinoike.or.jp

(社福) 平成会理事長 赤坂 秀則

広報部

平成会

(令和4年1月1日)

社会福祉法人 平成会



第99号

「あおぞらひろば」事業所の開設

業所を開設いたしました。 令和3年11月、宮領ワ ークセンター -に新しく「あおぞらひろば」事

す。 地域の皆様を対象とした「地域交流事業」の2 本立てになっていま 園児とそのご家族を対象とした「子育て支援事業」と、東広島に住む 市から委託を受けた平成会が事業運営するもので、その中身は、未就 本事業は、東広島市が管理する「ひろば型子育て支援拠点事業」を、

立しがちで負担も大きくなっています。 園児の場合、子育ての主たる担い手である若い母親は、社会からも孤 さや責任、悩みなどが常に伴うものでもあります。特に、小さな未就 子育ては親にとって喜びや楽しさに満ちたものですが、 一方で大変

緒に遊んだり子育ての悩みや相談ができる場所を提供し、 ら子育てができるお手伝いをしていきたいと思っています。 「あおぞらひろば」では、子どもさんと一緒に気軽に立ち寄って、 楽しみなが

力が弱くなっていることが社会問題となっています。 み、地域、家庭、職場という生活領域の支え合いの基盤、互助や共助 また、近年、急激な少子高齢化の波や、地域の過疎化、人口減少が進 Ő

助や共助につながることを期待しています。 の皆さんが集まる機会を作ることで地域交流の場となり、住民間の互様々なイベントを定期的に開催していますが、イベントを通して地域 ゴミ出しなどの不安感、年代を問わず長期化する引きこもりの問題 など、公的支援制度だけでは解決が難しい課題が生じてきています。 これは東広島市でも同様で、例えば単身高齢者の買い物や日々の あおぞらひろばでは、年齢や性別によらず、どなたでも参加可能な

用していただける事業所となるよう職員一同努めてまいります。 地域の皆様から身近に感じていただき、幅広い世代の方に気軽に利

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。